

進路だより

～Dreams Come True～



郡山市立明健中学校
★★ 第 25 号 ★★
令和 4 年 3 月 10 日 (木)
文責：進路指導担当 小林 和歌子

■ 私の進路選択～3年生から1、2年生のみなさんへ ■

受験を終えた3年生に受験までの道のりを振り返ってもらいました。それぞれの進路選択の理由や進路決定時期、進路目標を達成するための実践などを紹介します。

1年生のみなさん、中学卒業後は自分で進路を選択しなければなりません。2年生のみなさん、いよいよ4月からは「受験生」です。先輩方の体験談を読み、3年生の自分の姿をイメージしてみましょう。

〈県立高校普通科を一般選抜で受験〉

私はやるべきことを視覚化することが大切だと思います。2年生の頃から「スタディ・プランナー」をつけ始めました。その日にやるべきことを書き出すことで、優先順位をつけて効率よく勉強できました。また、やったものを1つ1つ消していくことで達成感を得られ、楽しく取り組みました。さらに、学習の充実には生活を整えることも重要だと感じます。私は睡眠時間を削って学習時間を増やしていた時期がありましたが、その結果、体調を崩して授業に集中できなかったり、学校を休んでしまったりしたことがありました。これを受けて生活を整えるようにしたところ、学習の質が向上し、成績もよくなりました。したがって、バランスの取れた生活をするべきだと思います。

〈県立高校専門学科（商業科等）を特色選抜・一般選抜両方で受験〉

特色選抜を受験しようと考えた理由は、高校卒業後に親の経営する店で一緒に働きたいという、自分の夢がはっきりしているからです。私が受験した高校の「志願してほしい生徒像」に合っていたので、挑戦しました。挑戦を決めたのは3年生の夏休みです。特色選抜のA型（学業）は中学校での成績が重視されます。そこで、日々の授業にはしっかりとした態度で主体的に取り組みました。また、定期テストは出題範囲をまんべんなく学習しました。最初は、特色選抜の受験に不安もありました。しかし、「自分はこちらに行きたい」と、気持ちをしっかりもって頑張れば、高校の先生方にも伝わると思います。気持ちで負けないことが大切です。

志望校など、進路の希望をもつことは大切です。なぜなら、勉強のモチベーションにつながるからです。私は、特色選抜と一般選抜を受験しました。「特色選抜＝スポーツ」というイメージがあるかもしれませんが、学業に関する型もあるので、検討してみるといいと思います。最後に、定期テストは受験にもつながっています。たとえテストの結果が良かったとしても、決してそれっきりにするのではなく、しっかり復習することが大切です。

将来の夢を明確にもつことは、志望校を決める上で大切だと感じました。私は将来、体育教師になりたいと思っています。そのため、将来の夢の実現に向けて専門的な知識を学べる学科を受験しました。私は、特設部や専門委員会の活動において、集団の先頭に立つ機会が多くありました。その経験を通して、集団をまとめる力を身に付けることができ、人として成長することができたと感じています。このことは、特色選抜を受ける上で自分の大きな強みになりました。

〈私立高校普通科を学業に関する推薦選抜で専願受験〉

1、2年生の頃はまだ志望校はありませんでしたが、評定は調査書に書かれると知り、評定を上げるために地道に頑張りました。テストの結果だけでなく、提出物や授業態度にも力を入れました。そのおかげで、2年生の教育相談で、5教科の評定が推薦基準になる高校の推薦選抜を勧めただけでした。その後、体験入学などに参加し、その高校を志望校にすることができました。志望校が決まってもそうでなくても、評定はとても大切なものです。提出期限を守れるか、授業に集中して取り組むかなどが大きな差になります。良い成績は良い生活から生まれます。今からでも十分に間に合います。1、2年生のみなさん、未来の進路選択に向けて頑張ってください。

裏面もあります

〈私立高校普通科を部活動に関する推薦選抜で専願受験〉

学習面はもちろんですが、部活動にも力も入れて取り組みました。部長として日々の練習で心がけていたことは、周囲が私に期待すること以上の成果を出して、少しでもチームに貢献することです。期待以上の成果を出そうと、日々の練習に全力を尽くした結果、その頑張りが高校の先生にも認めていただけました。私が志望校を決めたのは、去年の10月頃です。部活動において私が心がけたことは、部長だけが行うことではないと思います。部活動に関する推薦入試を考えている人は、中体連までに力をつけて、満足いく結果を出すことができるように頑張ってください。

■ 3年生のみなさんへ ■

みなさんは、社会人になったら求められる4つの力

- 1 他者や集団を大切にする力（人間関係形成・社会形成能力）
- 2 自分を大切にする力（自己理解・自己管理能力）
- 3 考え実行する力（課題対応能力）
- 4 挑戦する力（キャリアプランニング能力）



を、授業をはじめとした中学校生活のさまざまな場面で高めてきました。今年度は、中学卒業後の進路に焦点が当てられることが多くありましたが、進路に関する学習は、高校受験に向けた取り組みのみを指すのではなく、自分の生き方を考える学習の一端です。高校においても、上記4つの力をさらに伸ばしていきましょう。

国語の授業で新川和江さんの「わたしを束ねないで」を読みました。最終連を引用します。

わたしを区切らないで

コンマ ビリオド

、 や 、 いくつかの段落

そしておしまい「さようなら」があったりする手紙のように

こまめにけりをつけないでください わたしは終りのない文章

川と同じに

はてしなく流れていく ひろ 拡がっていく 一行の詩



「私は〇〇だから」と自分を枠にはめて可能性を狭めることなく、自分の希望の実現に向けて挑戦し続けてほしいと思います。みなさんのご活躍を心よりお祈りします。ご卒業おめでとうございます。

■ キャリアパスポートについて ■

「キャリア・パスポート」は、2020年4月から始まった、小・中・高等学校の12年間を通した進路学習の取り組みで、今年度も全学年が「キャリア・パスポート」に取り組みました。「キャリア・パスポート」は、生徒が自分自身の学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして、自己評価をしながら、自ら主体的に学びに向かう力を育んだり、自己実現につなげていくためのものです。校種を越えて引き継ぐことで、努力した過程や自分の成長を確認することができます。

さて、生徒のみなさんは、この取り組みを通して、自分の中学校生活を振り返ったり見通したりすることができたでしょうか。これからも授業や学校行事、部活動などでのさまざまな体験や学びを通して、自分らしい生き方の実現に向け、自らを成長させることを意識してほしいと思います。**3年生は、高校の先生から「キャリア・パスポート」の引き継ぎについての指示があるまで、大切に保管してください。**

■ 高等学校新入生オリエンテーションについて ■

「新入生事前指導」「合格者オリエンテーション」等と名称は異なりますが、各校が春休み期間中にオリエンテーションを設けています。服装、持参物、提出物等をよく確認して、必ず参加させてください。

また、入学後の新しい通学路や通学方法などについて、お子様と入学前に検討しておく、スムーズに通学できると思います。

■ 卒業後の来校について ■

- 1 在校生の授業時間、活動時間なるべく避けてください。
- 2 私服での登校は禁止です。制服等で来校してください。
- 3 職員室に必ず挨拶をしてください。感染症拡大防止のため、基本的に職員室で対応します。

今年度の進路だよりは今号が最終号です。これまでの保護者のみなさまのご協力に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。